

中 コミュニティ・スクールだより

釧路市立共栄中学校 コミュニティ・スクールだより 第3号

発行日：平成27年11月6日（金） 発行者：コミュニティ・スクール事務局

「地域の中で 学び、つながり、 主体的に行動できる子ども」




今年度、第3回目となる推進委員会が10月22日（木）に開催されました。前回「共栄中学校のコミュニティ・スクールで目指す子ども像」について、出された多くの意見を事務局でまとめ、改めて共栄中学校が目指す子ども像について協議しました。

協議の結果、本校の生徒たちには地域でできる体験・経験を通して地域を知ること、小学校等異校間との連携なども含めてつながり、主体的に行動できるようになってもらいたいという思いから、「地域の中で学び、つながり、主体的に行動できる子ども」に決まりました。

「主体的に行動できる子ども」というのは現在の教育活動に求められている部分であり、共栄小学校の目指す子ども像ともつながりがあるため小中一貫して活動できると考えました。

今後は、コミュニティ・スクールの活動を地域全体で、この目指す子ども像を共有し協働して進めていきたいと考えています。また、これからコミュニティ・スクールの活動を続けていく上での課題も意見として出されました。

共栄中学校の活動をどのように地域へ
発信して周知していくか



現在、学校だよりやコミスクだよりを近隣町内会へ配布して回覧していただいているが、町内会への加入状況から、全体への周知が困難な状況にある。

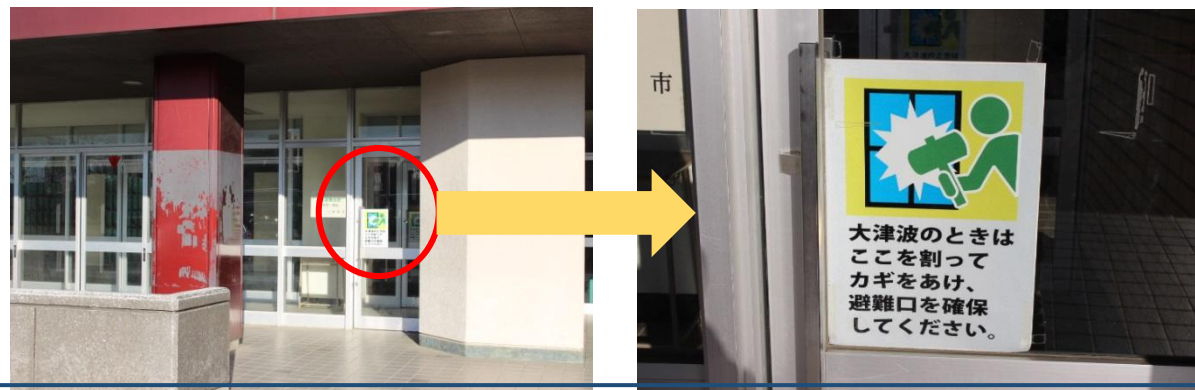
今後の活動として、広報活動の強化を念頭に、地域の現状把握・校下小学校との協力で町内会回覧の実施を検討しています。

コミュニティ・スクールの推進に向けて

目指す子ども像が決定し、今後の活動の中で重要になってくるのが、①組織としてどの様に関わっていくか、②学校として地域とどのように連携を図るか、という点です。共栄中学校では、現在学校支援ボランティアを募集し授業サポートをしていただいておりますが、今以上に地域の方々と触れ合う場や地域の方々と協力して実施をする場を設けることが必要となってきます。先にコミュニティ・スクールを実践している東京都大田区立南六郷中学校では、近隣町内会の防災部と連携し防災訓練の一環として、学校に宿泊して避難所運営訓練を実施しています。共栄中学校では、12月に防災訓練を実施し、登下校中に津波や地震が発生した場合の緊急避難先を集団下校のグループで確認し徹底することを検討しています。今回出された地域と連携した防災訓練を実施する際の意見等をご紹介します。

- ・地域の方との緊急避難場所の確認
- ・避難場所までの経路を生徒と共に移動して確認
- ・校舎内の見学（共栄小学校で既に実施中） など

また、共栄中学校は大津波警報が発令された際の避難所になります。職員がまず来ることになっていますが、それより先に避難されている地域の方々もいると考えられます。その場合、生徒玄関に「ガラスを割って鍵をあげ避難口を確保」というステッカーが貼っているのでそこから侵入することになっています。しかし、わからない方も多くいると思うので説明する機会を設けたいと考えています。



土曜活動の参観に来ませんか？

12月19日（土）第4回目の土曜活動日です。活動内容は総合的な学習の時間での体験についてまとめ、発表をする「テーマ学習発表会」となっています。参観は自由ですので、お時間のある方は共栄中学校へお越し下さい。

次回 コミュニティ・スクール推進委員会

12月19日（土）10：30～ 第4回 コミュニティ・スクール推進委員会：オープンミーティングについて